

## 2022年度第1回リニモ沿線地域づくり会議の概要

### 1 開催日時等

日 時：2023年1月26日（木） 午後2時～午後4時

場 所：愛・地球博記念公園 地球市民交流センター 体験学習室

出席者：委員5名、オブザーバー3名、事務局11名

### 2 会議の概要

#### (1) あいさつ

#### (2) 議事

##### ア 議題1 リニモ沿線の地域づくりに向けた最近の取組状況について

##### 議題2 ジブリパークを核とした地域の魅力向上による賑わい創出・地域活性化の取組について

・資料1～2について、愛知高速交通株式会社及び事務局（愛知県）から説明した。

#### 【委員・事務局発言要旨】

##### ○松宮委員

・おでかけモデルルートについて、ジブリパークを拠点としながら沿線各所へということだが、まだ周辺を訪れる人は少なく、名古屋駅までの導線で留まっているという状況である。

2つ程大きな要因がある。1つは、グッズだけ買って帰られる方々がいるが、その後その荷物を持ってどこかへ行こうという感じではない。そういう方を誘客できていない。ジブリパークへ行ってからだけではなく、事前に計画することができるような形で情報発信できるとよい。

もう1つは、この情報が広く行き渡るなど、ジブリーパーク予約の際に1日乗車券とセットになった周遊観光の情報があると、モデルルートがより活かされるのではないか。

情報提供のあり方やモデルルートを使った事前の周遊の方法を考えた方が良いと感じた。

##### ○瀬口委員長

・モデルルートをジブリパークの予約の際に情報提供した方が良い。このような連携を図ることができれば、ジブリパークの予約後どこへ行こうかと考える機会が増える。

・来てから余った時間をどう使うか考えるという人たちも、事前にスケジュールを組んで来る人たちもいるので、モデルルートが双方に対応する設定になっているかというところだと思うが、どうか。

##### ○愛知県

・モデルルートは1泊2日の想定で紹介しているが、特に初めての来訪者は土地勘がないと思われるので、例えば距離、アクセス、滞在時間の情報を盛り込むことで、部分的にも使ってもらいたいという意図もある。

例えばスマートフォンで検索した時、行けそうな場所を見つけることができると、旅行者の観光でいう旅ナカの行動に結びつくと考える。

現在、MaaSの実証実験として、my route というアプリでもリニモ沿線の観光情報を紹介しており、ジブリパークの行き帰りに、いかに素通りされずにリニモ沿線に留まっていたかかが重要で

あると考えるので、そういった旅マエの情報発信にも努めてまいりたい。

なお、ジブリパークでも荷物を送るサービスのニーズがあれば関係者と協議していきたい。

## ○村田委員

- ・STATION Ai (ステーションエーアイ) について、詳しくご説明いただきたい。
- ・愛・地球博の理念とジブリパーク基本理念が融合したイベントの開催とあるが、それぞれの理念をどう捉えて、どう融合して、具体的にそれがどう感じられるのかというところをご説明いただきたい。

## ○愛知県

・STATION Ai (ステーションエーアイ) のプロジェクトについては、2024年度中に供用開始予定で、2023年1月より建設工事に着手した。また、STATION Ai のパートナー拠点ということで、東三河地域の企業・大学・行政機関等で構成する東三河スタートアップ推進協議会が設立され、同時に県と相互の連携協力に関する覚書を締結し、STATION Ai パートナー拠点第1号として2021年10月に位置付けた。

2022年の9月からは、地域とビジネス共創プログラムを実施しており、県内各地域の自治体・支援機関が協力パートナーとして参加し、地域ネットワークを活用しながらスタートアップの実証実験に向けた支援を実施している。

・愛・地球博の理念とジブリパーク基本理念が融合したイベントの開催については、モリコロパークの中の施設をウォーキングルートに組み込んだり、ゴールを愛・地球博記念公園駅に設定した際にモリコロパークで開催されているイベント、例えば市町村フェアが開催されていた時には相互に誘客した。

元々2005年の愛知万博には「自然の叡智」というテーマがあり、万博後愛・地球博記念公園となり、この理念・成果を継承するという一方で、生き物に対する愛という意味で合致するスタジオジブリの世界観を表現した唯一無二の自然公園であるジブリパークを設置するという事なので、自然の叡智・愛というところが理念として合致している。

## ○瀬口委員長

・具体的な理念として、愛・地球博の理念はこういふことで、ジブリパークの基本理念はこうだといふものがあって、それを実感できるようにプログラムを組んであるのか、企画する側が理念を明確にして組んであると、参加した方が理念を実感できる。

## ○清水委員

・モデルルートについて、実際の行動に結びつかせるためには MaaS と連携させるのが良いと思うが、MaaS の実証実験がマルチモーダルサービス導入実証実験ということか。また、どのような形で実験を行っているか。

## ○愛知県

・MaaS アプリは my route というものを使用しているが、その中にある愛知県のエリアにおいて観

光情報や行き方のコース検索はもちろん、それにサービスを付随させ、例えばチケットを買うことができたり、割引のクーポンを利用することができるなど、地域住民へのサービスにもつながるような実証実験を行っている。

#### ○清水委員

・既存のアプリの中で構築しているということか。

#### ○愛知県

・地域の方々にも連携・協力を求めたり、サービスを拡充させていくために既存のアプリである my route の中でいろいろ連携しながら構築している。例えばシェアサイクルの情報もそこで見て予約をすることができたり、パークアンドライドと連携させたりしている。

#### ○清水委員

・実際に誰かに使ってもらっているのか。デジタルスタンプラリーやモデルルートとも上手く関連付けられていくと実用性のあるものに繋がっていくと思う。

#### ○愛知県

・実際に使ってもらっている。また、MaaS 実証実験とデジタルさんぽラリーは連携を取っている。デジタルさんぽラリーのリーフレット裏面にモデルコースを3つ紹介しているが、そのうち文化散策コースはシェアサイクルを使ったコースで、この MaaS 実証実験と連携させている。また、リーフレットの中面に QR コードを掲載している。

#### ○清水委員

・それらは意識しての取組か。

#### ○愛知県

・意識して連携している。

#### ○亀倉委員

・デジタルさんぽラリーの取組については、ゴールを設定すると良いと思う。例えば、モリコロパークへの来場者やリニモ利用者を増やしたいのか、それともリニモ沿線地域に周遊させる人数、交流人口を増やしたいのか、それから県全域に効果を広げていきたいのか、知名度を向上させたいのか、居住人口を増やしたいのか、リピーターを増やしたいのか、そういった目的を持つことによって、現時点でここまでできている、できていないというように課題も明確になる。

そのためにも、実態の把握と課題の抽出が必要だが、今回の報告は全体的にやっていますという印象が強い。こういったゴールに照らしてみても乗り越えていきたいというような話があると、こちらでも例えば大学・研究機関として、あるいは大学生と共に活動していくものとして取組を考えることができる。

・周遊観光について、2つに分けて考えられる。1つ目は、MaaS のアプリを絡めて、チケットを買

った人がアプリで情報を得て、訪問する前に企画を練ることができるようにする。2つ目は、ぶらっと訪れる方がリピーターになってもらうチャンスにもつながると考えており、また来ようかなという気持ちを戦略的に仕掛けていくような情報の提供に取り組んでいく。ぶらっと来た方はジブリパークの後にあっちこっちへ出ていくのは大変だと思われるので、逆にリニモ沿線地域で楽しさを感じていただくチャンスだと考える。

- ・山の湊号に乗ってしまえば1時間半程で行くことができる奥三河を加えることは可能かということを考えており、山の湊号を有効に活用することで、ジブリの世界観と連携して、県全域として県のイメージを訴えかけていくということである。例えば、スタジオジブリが手掛けた愛知県観光動画の「風になって、遊ぼう」で紹介されている場所で3つ程奥三河があったので、ジブリパークやリニモ沿線を起点に県の全域に展開していく1つの方法の、とっかかりを作りやすいのが奥三河ではないか。

## ○愛知県

- ・ゴールの設定について、沿線地域にいかに立ち寄っていただけるか、それによってリニモの利用にもつなげていく目的で実施しており、ジブリパークとの単純往復ではなくリニモ沿線地域へちょっとよりみちしていただくというのが事業のゴールである。

ジブリパークがオープンしてこの地域に来る方が増えており、今までの事業の場合、訪問エリアが例えば愛知県内や東海3県からという狭いエリアだったが、関西圏や首都圏、北海道の方などたくさんの方から来ていただいているというのが、今回デジタルを使っているため中間の実績報告の段階ではあるもののデータから見えてきている。

また、このイベントを何で知ったかという質問に対しては、ポスターなどを駅で見た方が多く、こちらへ来て知っていただき参加していただけていることが分かってきた。そういった方々に素通りされないようにどんどん周遊していただきたいと考えている。

- ・事前にチケットを買う際に情報提供できるように、ジブリパークチケット販売サイト内にある愛知の魅力を発信する特設サイトに、リニモ沿線地域も含まれているので、情報に加えてもらったり、また現在大河ドラマのどうする家康が放送されているが、この地域にも徳川家康にまつわる観光スポットがいくつかあるので、そういったところでも連携しながら、事前にチケットを買う時に知っていただける取組につなげていきたい。

- ・山の湊号については、モデルコースに設楽原古戦場や湯谷温泉など三河地方も入れた合戦史跡日本百名湯を巡るルートがある。奥三河地方ともつながるような取組をモデルルートやSNSで発信する等奥三河などにも立ち寄ってもらえるよう考えていきたい。

## ○瀬口委員長

- ・評価する時に、どういう部分に効果があるかというのをいくつかゴールを設定しておいて、この企画はここに効果がある、ここに効果が少ないというように客観的に位置付けながらイベントを進めていったらどうか。このイベントについては全国的なエリアからの参加があるとすれば、ジブリパークが愛知県の観光やイベントに貢献しているのではないかと、今までの愛知の観光とは切り口が違ってくる。効果とやっていることを比較しながら取り組んだらどうかということである。

- ・STATION Ai（ステーションエーアイ）あるいはMaaS、そういった情報化も実感として進んできた

ように思う。愛・地球博記念公園内はある意味では閉じられた空間であり、そういうもの（自動運転の実証実験など）を実験的にやろうとしているので、それをもう少しどのように強化していくのかというのがないと良い。情報化の進展と雇用創出はバッティングする。雇用創出だけではなく情報化も進めなければならないという立場に立つと、愛・地球博記念公園の駐車場にはスタッフが立っているが、自動化できないか等、雇用創出もあるが自動化もできないかということも頭に置きながら全体を進めたいと思ってもらいたいと良いと考える。

・資料3～7について、事務局（沿線市）から説明した

#### 【委員・事務局発言要旨】

#### ○松宮委員

・リニモ藤が丘駅について、チラシなどが置かれているがあまり手に取られていないように感じる。周辺の市の案内が大々的にできると良い。また、愛・地球博記念公園駅は少し奥に掲示がある。パッと見て目につくような形でやっていただくとより一層周辺の観光にもつながるということで検討いただければと考える。

・ふるさと納税をして、返礼品をお土産にするという形が結構今増えている。その返礼品の発送にいろいろな案内も添えることができるので、今度リピーターとして観光に行けるような情報も届くのではないかと考える。そういった情報だと割と手に取ってもらいやすいと思うので宜しければ検討していただきたい。

#### ○愛知県

・リニモ駅におけるラックや掲示板については、借りている場所なので、希望が通らないかもしれないが、愛知高速交通株式会社と相談していく。また、ふるさと納税という視点は無かったので、是非参考にさせていただきたいと考える。

#### ○村田委員

・現状ジブリパークは、予約販売しかしてなくて人数制限があると思うが、今後解除される可能性があるのかなのか。そういったことも含めて現状交通渋滞はないとのことであるが、今後渋滞が発生する可能性をどのくらい想定しているのかお伺いしたい。

・各市の取組、県の取組の中でもっと連携して動けばいろんな可能性が本来あるはずだと思う。是非県にそういう担当者レベルで話し合えるような場を作っていただき、地域でもっと盛り上げていける取組にしてもらえると良いと考える。そういう関係性がその先この地域全体を盛り上げて行くのだろうなと考えている。

同じことが、MaaSとも関係してくるかもしれないが、共通の1日乗車券+ジブリパークチケットみたいなものの考え方等があると、もっと自由にジブリパークに来たらいろいろなところに行けるというような繋がりも広がってくると考える。

#### ○愛知県

・ジブリパークの入場者数や交通計画については、交通対策課では把握しかねる。

### ○愛知高速交通株式会社

・ジブリパークの開園によってリニモが一時的に混雑するのではないかと心配があり、県と連携し、11月の平日に限り朝8時台と9時台藤が丘から八草行の臨時列車を時間1本ずつ増便させて運行した。結果としては、元々ジブリパークは時間予約制の限られたキャパシティになっており、例えば予約時間の前に来て愛・地球博記念公園を眺めたり、チケットを持っていない方が周遊するという可能性も考えられたが、実績で見るとそういったお客様はほとんど影響がなかった。

リニモを運行していく中で見えてきたことが1つあり、帰りのお客様がお土産などを買われて一斉に帰られると、ちょうど県立大学の帰宅ラッシュと重なる時が一部あり、そういう時は混雑状況によって、臨時列車を随時出して渋滞緩和に取り組んでいる。また2エリアオープンが来年度順次行われるので、状況を見ながら県と相談して臨時列車などの対応はしていきたいと考えている。

### ○瀬口委員長

- ・ジブリパークの入場者数や交通計画について、最終的にはどこに確認すれば良いか。
- ・人数制限はなくなる方向なのか。

### ○愛知県

・まだ、具体的な将来の運用については、公表されていない。残り2エリアがどのような運用になるか、今オープンしている3エリアも将来そういった制限がなくなるかというのは公表されていないので、どういう検討状況か分からない。

### ○村田委員

・現状そういう話なので、今後きちんと議論していきながら、リニモ自体もそうであるし、道路交通についても予測を立てながら対策を取っていただけたらと思う。

### ○瀬口委員長

・ジブリパークの方は人数を制限しながら、経営的に問題が無ければ、交通政策上コントロール、都市計画の方で無理をしないで、徐々に人数を増やしていくというのも考え方で、そういう意味では先進的事例になるかもしれない。普通は、交通政策は後追いになり、渋滞の結果改修するというようなことになっているので、その辺も少しモニタリングしておくとも良いかもしれない。

### ○愛知県

- ・十分検討させていただく。
- ・村田委員ご指摘の県と沿線市が連携して取り組むとさらに高まるのではないかとのご意見については、現状でも県と沿線市は連絡協議会というような組織もあり、そういったところでも意見交換させていただいている。また今後もジブリパーク残り2エリアのオープンがあるので、こういう機会に沿線市とも情報共有や意見交換を密にして進めていきたいと考えている。

### ○清水委員

- ・長久手市のリニモテラスは、4本柱で大学連携、観光交流、多文化共生、子育て支援を掲げてい

るが、利用者に対してあるいはイベント開催の際、どういう分野の活動なのかといったリサーチはしているか。もしあったら、どういった割合なのか。

・指定管理して、今までと違う運用の仕方としたことで、今までにない新たな活動が起き始めたとか、もしそういったことがあれば教えていただきたい。

### ○長久手市

・イベントをする時にこの4つのどれかに当てはまるということであれば実施し、それぞれがどの分野に分けられるという集計はしていないという状況である。

・指定管理にすることでどのように変わったかという点については、オープン当初から指定管理であったため、特段何か大きく変わったというようなことは担当者から聞いていない状況である。

### ○清水委員

・例えば図書館だと指定管理にすることによって、開館時間が変わることで利用者が増えたり利用者層の幅が広がったりすることもあると思うので、指定管理で新たにつくられた施設として、その効果が見えてくると今後の公共施設の在り方につながると思うので、その辺分かたらまた教えていただきたい。

### ○瀬口委員長

・大学連携ということで、主催者が大学の関係者かどうかというのは統計を取った方が良い。観光交流も切り出せるのではないかと思う。つまり、一方は広域的、他方、多文化共生と子育て支援は市民サービスとなっている。したがって、リコモテラスが市民サービスの施設だけではないということをやはり実感して運営していただいた方が良いと考える。もう少しきめ細かく報告してもらおうとリコモ沿線の人たちにとっても欲しい情報になり得ると思うのでお願いしたい。

### ○亀倉委員

・デジタルさんぽラリーが1つのキラーコンテンツになるのではないかと感じた。これを上手に使うと、リピーターの獲得につながっていく可能性があるのではないかと考えており、各沿線市から提案が出てきたものを上手に組み込みながらポイント制にして、スタンプを貯めるとご褒美につながる形になると面白いと思うので、リコモ沿線の地域づくりと観光を含めた活性化、ジブリパーク開園の効果を起爆剤にしてというところが実現していく1つの契機になるのではないかと考える。

### ○愛知県

・期待に添えるよう努めたい。デジタルさんぽラリーはジブリパーク開園に合わせて11月1日からスタートしているが、委託事業として実施しており、どこかで期間を設けなければならない。沿線市と東部丘陵線連絡協議会という枠組みがあるので、今後も情報交換を密にして、こういった事業におけるスポットの選定などにおいても連携し、地域全体の盛り上げに努めてまいりたい。

### ○瀬口委員長

・各市いろいろな努力をしていただいております、例えば名古屋市も資料3にあるようにいろいろな

取組をやっていただいているが、藤が丘の駅前のイベント空間の景観にもう少し工夫ができれば良いのではないかと考える。

- ・瀬戸市は尾張瀬戸駅からジブリパークまでのタクシーやバスの実証実験を行っており、豊田市の場合は買い物をする駐車が 12 時間無料になるといった取組など、それぞれの都市の事情で施策が出ているわけだが、その中でもう少し共通にできる部分はないのかということも 1 つのテーマであり、検討してみると幅が広がるかもしれない。

- ・日進市のジブリパークの開園を契機としたプロジェクションマッピングは面白い。道路に最近岩崎城の看板が出ており分かりやすくなった。モデルルートを見ると、岩崎城のところは「織田信長の父信秀によって築城された」という記載があるが、少し説明が寂しい。モデルルートを活用していきたいということで、今年限定だが大河ドラマの効果も絡めて家康の関連で岩崎城について記載するとどうか、小牧長久手の戦いの時にここは 1 つの拠点になったわけなので、そういうことを記載しておく、東照宮も郡上八幡も岡崎城も関連してくる。いろいろ取り組んでいてすごく良いと思うが、もう少し工夫していただくと良いと思う。

- ・長久手市内のシティドレッシングとバナナがたくさんあり、雰囲気的にはジブリの街になったんじゃないかなと思う程である。取組状況を聞いて皆さん努力していただいているなど感じた。

- ・来年はさらにリニモ沿線施設等を利用するお客様も増えていると思われるので、それが期待通りなのか、いろいろな企画がどうだったのか、あるいは愛環はどうなのか、公共交通全体をとおして何かもう少し考えていくと良い。

沿線の観光だけではなくて、住んでいる人にとって愛・地球博記念公園というのは日常生活の上でとても良い空間である。ジブリパーク来園者も地元の方も一緒に利用することができるのが良いのではないかと考える。

### (3) その他

- ・愛知環状鉄道株式会社から 35 周年イベント等について情報提供

### (4) 閉会